

2025 年 5月 20 日	日仏社会学会ニュース	No. 62 日仏社会学会事務局
-------------------	------------	---------------------

<記事>

1. 研究例会について
2. 2025 年度日仏社会学会大会について
3. 大会「自由報告」の募集について
4. 研究部会の発足について
5. 『日仏社会学会年報』（第 37 号）への投稿論文等の募集について
6. 新入会員のご紹介
7. 会費納入のお願い

1. 研究例会について

日仏社会学会研究例会を開催します。奮ってご参加ください。

日時：2025 年 8 月 4 日（月） 14：30－16：00

場所：関西大学梅田キャンパス 705 室（大阪府大阪市北区鶴野町 1 番 5 号）

テーマ：「フランスにおけるメディア買収の進行と極右公共圏の拡大」

報告者：本間圭一（東洋大学）

コメンテーター：長谷川秀樹（横浜国立大学）

司会：前田至剛（追手門学院大学）

2. 2025 年度日仏社会学会大会について

2025 年度の日仏社会学会大会は、11月 1日（土）、淑徳大学関係各位のご協力により淑徳大学東京キャンパスにて開催する運びとなりました。シンポジウムでは、本学会の新たな研究体制の方針について、理論、思想、社会階層、文化、移民など、各分野の会員が参画するパネルディスカッションを行う予定です。大会のスケジュールおよびシンポジウムの具体的な内容、報告タイトル等については 10 月発送予定のプログラムでお知らせいたします。奮ってのご参加をよろしく願いいたします。

3. 大会「自由報告」の募集について

本年度も、下記要領によって、2025年度日仏社会学会大会の「自由報告」を募集いたしますので、多数ご応募ください。

- 1) 内 容 (1) フランス社会学に関するもの
(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの
(3) 日仏社会に関する広義の比較研究
- 2) 報告時間 20分（プラス5分間の質疑応答）
- 3) 申込方法 e-mailで、報告テーマ、氏名、所属を事務局までお知らせください。
e-mail：nichifutsusocio@gmail.com
- 4) 応募締切り 2025年7月31日（木）

4. 研究部会の発足について

ニューズレターNo.61でお知らせいたしましたように、研究活動委員会のもとに、以下の8つの研究部会を発足いたしました。会員は各自の研究分野にしたがい、該当する部会（複数も可）に所属していただきます。まだ回答されていない方は、下のQRコードより、回答フォームを取得していただき、回答してください。3部会まで所属することができます。

QRコードにアクセスができない場合は、事務局(nichifutsusocio@gmail.com)まで直接ご連絡ください。

研究部会

- 1) 理論
 - 1) -1 デュルケーム・デュルケーム学派
 - 1) -2 ブルデュール
 - 1) -3 弁証法的社会学（ブルードンからギユルヴィッチ・ルフェーヴルなど）・模倣の社会学（タルド）・その他
- 2) 社会思想・哲学
- 3) 地域・都市
- 4) 社会階層・教育・労働
- 5) 文化・メディア・宗教
- 6) 福祉・医療
- 7) 移民・政治・多様性
- 8) ジェンダー・家族



5. 『日仏社会学会年報』(第37号)への投稿論文等の募集について

2026年度発行予定の『日仏社会学会年報』(第37号)への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、会員業績を年報に掲載いたしますので、2025年4月1日から2026年3月31日までの会員業績を、2026年3月31日までに下記のメールアドレスにご送付の程よろしくお願いたします。さらに、フランスに関連する会員の著書の書評の依頼も随時受け付けています。

1) 原稿締切り：2026年3月31日

2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛(『日仏社会学会年報』編集事務局)

電話：0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

3) 投稿規定

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会(社会思想史を含む)に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究のうち未発表のものに限る

2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。

3) 論文は400字詰め原稿用紙換算50枚程度。

(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)

4) 研究ノートは400字詰め原稿用紙換算30枚以内。

(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)

5) 資料紹介、書評および内外研究動向は400字詰め原稿用紙換算20枚以内。

(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)

6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには200語以内の仏文または英文の要約を添付する。

7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名(英文付記)と所属、著者の連絡先(住所、電話、ファックス、Eメールアドレス)を書いた用紙1枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の

論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

6. 新入会員のご紹介

堀内智吉（立命館大学大学院）

7. 会費納入のお願い

2025 年度もお早めに会費を納入くださいますようお願いいたします。2022、2023、2024 年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2024 年度の会費を納入されていない場合、年報 35 号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。会費は 5,000 円（院生会員は 3,000 円）です。院生会員の方は、同封の振替用紙の通信欄に、所属大学院を記載してください。

日仏社会学会事務局

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 - 3 - 3 5

関西大学社会学部内

TEL 06-6368-1149

nichifutsusocio@gmail.com

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会
